

# 地方創生へ 金融でお手伝い

株式会社埼玉りそな銀行 取締役兼常務執行役員

中尾安志さん

Yasushi Nakao



## 経歴

さいたま市浦和区生まれ。県立静岡岡高校卒業。中央大学法学部卒業。1984年、埼玉銀行入行、2000年、あさひ銀行武蔵浦和支店長、企画部関連事業室長、りそな銀行執行役員・ローンビジネス部長、常務執行役員・多摩地域担当、埼玉りそな銀行常務執行役員・埼玉西地域営業本部長を経て、14年、取締役兼常務執行役員・営業サポート本部長兼資金証券部担当に就任。53歳。

<http://www.resona-gr.co.jp/saitamaresona/>

## 地域密着の銀行を目指す

大学法学部在学中、様々な社会事件に興味を持ち「ロッキード事件裁判は欠かさず傍聴に行きました」という中尾さん。エネルギーシフトな行動力は今も変わらず、若い銀行マンに刺激を与えている。

埼玉りそな銀行は、全国展開するりそな銀行とともに、りそなグループの中核バンク。埼玉県内を主な営業基盤とし、中小、リテール業務に軸足を置く。「りそなグ

ープは規模的には3大メガバンクに次ぐ銀行。当行のお客様にとっては、りそな銀行の全国ネットワークをすべて使えるメリットがあります」。

全国的な人口減少が続く中、埼玉県は数少ない人口増加県。圏央道の整備も着々と進み、まだまだ成長が見込める県だ。「りそなは他の商業銀行にはない信託機能を持っており、こうした強みを使って、さまざまなソリューションを提供し、地域密着型銀行として地域に根差した銀行を目

静岡市にゆかりがあり、東京を拠点に内外で活躍する皆様に、東京から見た静岡市の良さと可能性、まちづくりの方向について、ご提案いただきます。

「指していきたい」。田辺信宏静岡市長とは高校の同級生。政令市の成り立ちが似通っている、さいたま市の清水勇人市長とも偶然、同い年。「仕事柄、両市長さんとはいろんな会合でお会いします。まち・ひと・しごと創生ということ、われわれも地方創生に向け金融という立場でお手伝いをしていくことが重要だと考えています」。

## 産官学金の連携強化を

「地方創生は自治体のアイデアが問われる。静岡市らしさをどうやって出しているかがポイント。情報は集まってくる所ですし、産・官・学がもっと連携できると思います。そこに金融も入って様々な事業支援をしていく」と、産官学金の連携の強化を求める。

埼玉県は東京都と接し、あらゆる面で競争が激しい地域。首都圏でビジネスを展開する上での留意点は「情報収集を十分にやっつて、進出先の核となるビジネスパートナーを見つけることですね。労働力の確保が見込めることはもちろん、初期投資の負担を極力軽減するため自治体の助成制度なども活用すべし」と指摘する。

近年、防災への関心が高まっている。「防災対策とセツトの安心したまちづくりをしっかりと進めてほしいですね。静岡市はそれができると思います」。

(文：長田義明、写真：(株)埼玉りそな銀行)